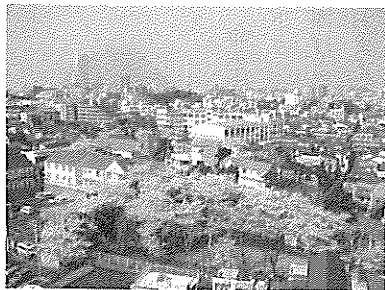


CBC NEWS



：自分自身を愛するように隣人を愛しなさい。：(レビ九・一八、三三―三四) 旧約聖書の根本的な教えとして、聖なるものになることと、十戒で要約されている神の戒めに並び、隣人を愛することはパウロが教えていた「人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえで有益」な役割を果たしている。一世紀ユダヤ教も同じく「自分自身を愛するように隣人を愛しなさい」に目をとめ、それも、神を愛することを前提としている。新約聖書では同じく

隣人を愛しなさい

マタイ、マルコ、ルカ、ローマなどによって聖書のその統一的教えを継続して説いている。「隣人」が自分の言語と国を超えていることはレビ九・一八が三三―三四節へと広げられていることによって示されている。古代



イスラエルでは、この戒めを無視し国家主義的な発言や態度も少なくなかった。そして、ヨナはそのような人物であった。しかし、ヨナ書ではそのような発言と態度は天地万物の創造者の教えと異なっていることが中心テーマとなっている。新約聖書でも同じく「キリストは主である」と告白する者たちにも「ヨナ主義」があった。事実、初代教会の最初の問題は、言語・民族差別問題であったと読める。パウロが開拓した個教会も同

じく言語・民族差別で悩まされた。この旧約聖書の根本的教えを現代の教会に適用し解釈するとき、キリストにおいて「ユダヤ人もギリシヤ人も一つ」であるべきである。そして、その適用はイエスの弟子であるかないかを分ける。テクノロジーとインターネットによってグローバル化されているこの時代では、その流れに逆らう反応が付き物である。「自分自身を愛するように隣人を愛しなさい」に従うならば、この逆方向の反応にもキリストの愛を示さなければならぬ。具体的に教会は何をなすべきなのか？それは、「敵意という隔ての壁」を取り壊されるべきである。これには、わたしたちの宣教の目的から使う言葉までが影響を及ぼす。宣教では「世界がわが教区」なのである。海外宣教から国内宣教に至るまで、失われ見捨てられた人々に福音を伝え、言葉レベルでは差別用語を使わないだけでなく、やたらに「日本では：日本人は：」を使わずに「キリストと文化」を扱わなければならない。

静心

主の愛はなんと大きいのだろう、と私は思う。主は学生を愛して下さっている。この二〇〇年、主は私達を召してそれぞれの賜物を生かして用いようとして下さる。主は私にはどんな賜物を与え、用いて下さるのだろうか。主に期待し、主の為に用いて頂きたい。そして、主の愛に応えてこの愛を多くの人々に伝えたい。

あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。

ヨハネの福音書一五章一六節
今年のCBCの御言葉である。

(Y・Y)

CBC NETWORK

・一五日から二四日にわたって、米国コネチカット州から一八名のボランティアの方々が来られ、宿泊棟(C棟)の棚作り、図書館の書籍移動などをして下さった。神学生と共に路傍伝道にも行き、伝道集会では特別賛美をして下さった。
・今年度より中央聖書神学校の同窓会会長に長屋勇師が御奉仕下さることになった。
・四月一日から仁司路子師に代わって立石ゆり師が学校事務職員として御奉仕下さることになった。
・四月四日に中央聖書神学校の入学式が新チャペル(B棟)で行なわれ、七名の新生を迎えた。
・休学中であった山田隆子師が健康を取り戻し復学した。
・四月五、六日に聖別式がもたれた。講師は菊地和博師と久保田潔師であった。
・四月六日に中央聖書神学校関東分校の入学式が行なわ

訂正とお詫び

前回のCBCニュース五頁、山城師の主題が「三五年の奇跡」となっていました。三五年の軌跡の間違いでした。ここに訂正し、お詫び致します。

編集部

ミニ特集

・五名が入校した。司式は青木三徳師がなされた。
・四月一四日に韓国国立商船大学の練習生九名が学校に來られ、神学生と共に路傍伝道に行き、伝道集会では特別賛美をして下さった。
・五月二十三日に教団主催の献堂記念式典の後、学校創立五〇周年記念講演・音楽会を開催す。

ホームページ できました！

神学校に、インターネットのホームページができました。時間割、教師紹介、校歌などなど盛り沢山です。その中でもCBCの学生が見ても面白いのが、今日の出来事と学生伝道集会ゴスペル・イン・ザ・ナイトのメッセージ、スキット(動画で見られます)です。一見、否、必見の価値あり、ぜひのぞいて下さい。

アドレスは <http://cbc.ag-j.or.jp/> です。

中央聖書神学校学生募集

主の御声を聞いている者よ、来たれ！
入学資格：受洗後2年以上を経た忠実な教会員
高校卒業以上
住 所：〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20
電話番号：03-3918-4925
入学案内は学校事務所にお申し出下さい

編集

後記

入学式の朝。なぜか気分が晴れない。めまぐるしく変化した一年。そして、始まる神学生の生活。そしてその先には…。メランコリー親和型の私が乗り越えていける道であろうか。神の召しを確信し、覚悟して臨んだ筈の私の心に、ふと不安が過った。その時、神はヨハネ一五章一六節の御言葉をもって語って下さった。「私があなたがたを選び、あなたがたを立てた。」と涙が出てきた。主よ捧げます。私を用いて下さい。キリスト降誕二〇〇〇年、春のやわらかな日差しに包まれた、四月四日の出来事。(N・T)

編集スタッフ

菅原 洋子 内田 信恵
日吉 成人 測上 博子
竹中 範明 山岸よしあ
編集責任者 白石 禎男
事務局 中央聖書神学校
豊島区駒込三二五二〇
FAXTEL 〇三三九一八四九二五
〇三三九一八四〇六四

シリーズ 献身 Vol.15



私の献身

伊藤顯榮

篠原教会牧師 教授

私の父は日本アッセンブリ教会の牧師だった。開拓伝道で経済的に苦しかったが、教育投資をしてくれた。早くから幼稚園に入れ、小学校は東京の師範学校(現在の学芸大学)の附属小学校まで電車通学をさせた。毎年提出する家族調査書の進学希望欄に、父は常に東京帝国大学工学部と書いていた。一流のエンジニアになることを願っていたらしい。毎年それを見ているうちに、それが私の目標になっていた。

太平洋戦争が始まり、東京の学校に入れなくなったため、ルートの一つ、神奈川県立横浜第一中学校を受験することになり、合格した。しかし間もなく父は召集を受け、戦地に送られ、戦死した。そしてやがて敗戦となった。

ではどうする? とりあえずは受験勉強か? 米軍の

進駐と共にペンテコステの信仰を持つ兵隊たちが教会に集まり始めた。それまでに受洗し、受洗していた私はかたことと彼らと話し、通訳をしなければならなかった。兵隊たちが市内の中学校で行なっていた英語バイブルクラスにも通訳として毎週何回も応援に行った。彼らの主催する日曜日の午後の青年対象の集会は恵みに恵まれていった。ある日曜日の午後、濃厚な主の臨在の中で一同で祈っていた時、私は突然倒され、主の声を聞いた。「我に従え。人を漁る漁師とする。」私は問い直した。「どの様にしよう。」すると主は「それはお前が案じることではない。とに角お前は我に従え。」と言われた。

その後時間をかけて祈り、相談をし、ついに決断をした。すでに新学期は始まっていたが、私は聖霊神学院に入らせていただき、献身者としての道を歩み始めた。何がどうなるかさっぱりわからない中で、ただ主の御声に聞き従ったのが、最初のステップであった。

「みちのく」人旅

中央聖書神学校

四年 三宅 真嗣

すでに春を感じさせるうらかな朝、私たちは、みちのく東北に向かいました。東京で生まれ育った私は、東北がどんな所であるか、まるで想像できませんでした。その一方で、キリスト教に対して心が開かれていなく、福音宣教に対して頑強な土地であるかのような感覚を持っていました。しかし、東北地方はかつてはキリスト教が多くおり、たくさんのお教者がいた場所でした。米沢を訪ねたとき、五三名ものクリスチャンが処刑されたという刑場に案内されました。かつて、尊い血が流されたという場所に立ったとき、何か熱いものが込み上げてきました。「殉教者の血は種だ」と言われますが、この東北地方には生命力にみなぎる種がすでに蒔かれています。

EW FACE!

FRESH NEW FACE!

FRESH NEW FACE!

新しい顔達!

身があがし



命を捨てて愛し、名を呼んで下さった主。この方に人生を捧げようと願う自分と、いやおまえなど、とてもふさわしくないと思える自分との葛藤の中で示された御言葉は「誰を遣わすべきか。誰が我々に代わって行くだろうか」。イザヤのように「私がおります。私を遣わして下さい」と無意識に祈っている自分がいました。昔、生まれてきたことを恨めしく思った自分をも変えて下さった十字架の愛を、口べたながらも一人でも多くの魂に伝えたい。背後で祈って下さる方々の祈りを支えに、



大谷浩嗣
神愛キリスト教会



重本百合子
江戸川台キリスト教会

日々感謝の心で一步ずつ着実に階段を上っていきます。

サムエルのように主の働きをしたいという思いを与えて下さったのは幼稚園の頃でした。小学五年生の時に受洗してから、それまで私の心の中にあった死への不安は平安に変えられ、主に従って行くこととその年の関東聖会の献身の招きに立ち上がりました。九年関東聖会でローマ書二二章一節の御言葉が与えられ、召しが確かなものとなりました。自分の弱さを感じる時も多くありましたが、御言葉や



竹中範明
小岩栄光キリスト教会

祈りの中で主は導き励まして下さいました。牧師である父が病の中で主を愛し信仰を全うし、召天していきりましたが、私も父を愛し、導かれた主に従って進んで行きたいと思えます。

高校三年の夏、洗礼を授けて頂いて以来三年の歩みの中にあって、私の心に語り続けられていた神の招きの御声に抗しきれず、二五年一ヶ月に及ぶビジネス活動に終止符を打ち、今回献身する事になりました。この長期に渡る霊的モラトリアムの期間を未熟



文 洪淑
横浜三春台教会

な神の僕のために備え、寛容と忍耐を持って導いて下さった神に心から感謝をするとともに、残された生涯をキリストの福音のために捧げて行きたいものと心から願っております。

「私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。アーメン。私の日本宣教師への召しのきっかけは「97 LOVE 札幌」という働きを通してでした。日本に教会やクリスチャンがとて少ないことについて知り、日本人の魂の救いの為に涙の祈りが続きました。祈る時に、主が日本を愛しておられ、日本への宣教を本当

☆☆☆教職インタビュー Vol.8

佐藤 昭雄 師

今回は、中央聖書神学校の講師として牧会カウンセリングとファミリー・カウンセリングを教えて下さっている佐藤昭雄先生にお話を伺いました。先生は、川崎中央福音教会を牧会されながらカウンセラーとしても活躍されており、そのうえ、神学校でも教鞭をとっておられるという大変お忙しい先生でありながら、それを周りに感じさせない先生です。

新聞部：先生の授業は、大変ユニークであると定評がありますが、先生が講義をされる上で、いつもどんなことに重点をおいて教えておられますか？

佐藤師：学生は、カウンセリングの技法に関心があるようですが、私はカウンセリング・マインド（こころ）を大切にしたいと思っています。その為には自分を知り、人を知ることが大切になります。感情の言語化と感受性ということに気をしています。



新聞部：なるほど、そうですか…。先生はどんなことがきっかけとなってカウンセラーとしての働きを始めるようになったのですか？

佐藤師：神学校の時に友達に勧められて、研修会に出席したのがきっかけで、その時の講師の受容的態度（教えるというより、あなたと一緒に歩むという態度）にほれ込んでしまいました。「神学」については学び続けていたが、「人間」「感情」についてはおろそかになってしまっていました。自分の感情、人の感情の動きなども、知れば知るほど興味が湧いて、人を援助することが楽しくなってきました。

新聞部：研修会をきっかけとして先生に与えられていた賜物が引き出されていったんですね…。ところで、先生は神学生だった時は、どんな学生でしたか？

佐藤師：好きな授業は一生懸命やりましたが、そうでないものは受け入れられず…。居眠り学生になっていました。時間をつくっては出かけて行き路傍伝道、児童伝道をしていました。朝の祈りは「うるさい」と言われながら…。人の迷惑を考えずにバクバクと起き祈祷室へ行き、教師からは「授業時間に居眠りするくらいなら朝はゆっくり寝ていなさい」と言われるくらいでした。自分は、朝早いからではなく、授業に興味がないから眠ってしまうんだと叫んでいましたがね…。(笑)

新聞部：(笑)…。最後に今の学生に対して何か一言お願い致します。

佐藤師：そうですね、クラスに来る学生は熱心な方々ばかりです。思っていることをかなりはっきりと発言されることには好感がもてます。しかし、自分の感情を言葉に表すことは、どなたも苦手なようです。自分の感情を言語化することと、人の感情を拾ってより良い対応をすることに心と意志を用いられたら、より居心地のよい学校となり教室となるのではないのでしょうか？

新聞部：はい。ありがとうございました。

FRESH NEW FACE!

FRESH NEW FACE!

FRESH

CBCの
新入生

に願っておられるのを知ることができました。特に第一テサロニケ五章一四節の御言葉の通りに、気ままな者を戒め、小さな者を励まし、弱い者を助け、全ての人に対して寛容である人になりたいです。三年間、主の僕として御言葉と祈りを通してよく学び、主に大きく用いられるよう、お祈り下さい。



李 寿成
横浜三春台教会

中学生の時、ミッシヨン・スクールの影響で初めて福音を聞いて教会に出席しました。高校一年の時、新年祈禱会で、神様は会って下さり救わ

れました。その時から違う学生生活が始まって教会の奉仕をしました。軍隊と大学時代は信仰も弱くなって悩んだこともありました。神様が祈らせて下さり、いろいろ環境が変わりました。特に職場で未信者の日本人を見て心が痛くなりました。そこで日本宣教のために命も惜しいとは思わないと決心しました。また、日本の文化と正しい神学を深く学びたいと思います。



菊池 亘
篠原教会

主の御名を賛美します。五年前に救われて数年間、私は伝道することさえ嫌っていたクリスチャン生活でした。しかし、主は私に祈りの中で宣教命令を下さいました。そして、人見知りばかりしていた私を、主は変えられたのです。しかし、人前に立つと上がってしまおう自分にとって「献身など無理だ」と思いました。ところが、主は私にこう語りかけました。「さあ行け。私があるの口とともにあって、あなたの言うべき事を教えよう」何もできない弱い器を、主が選びとって下さったことを心から感謝します。



主の御名を心から賛美致します。そして、私の為に祈って下さっている愛する方々から感謝を致します。九年三月二一日、主からの献身の御言葉を頂きました。エレミヤ一章四節から八節まで、私は若いエレミヤと同じです。若くて主の御言葉をどう語ってよいか分かりません。しかし主は私を母の胎内に形造る前から、母の腹から出る前から私を選んで召して下さったと御言葉を通して教えて下さいました。「雄々しくあれ。恐れはならない」と仰せられる主が共にいて下さいますから、私は主に従います。



山岸よしあ
北越谷キリスト教会

